

10/23

不測の事態に備える

防

災の各関係機関の委員の皆さんが集い、「大村市防災会議」を市役所で行いました。

この会議は、例年5月に開催していましたが、昨年の東日本大震災の発生を受けて、県が地域防災計画の見直しを行ったことから、市も計画の見直し案をまとめ、委員の皆さんにご審議いただきました。今年も、1月の「国民保護共同実動訓練」、5月の「県総合防災訓練」ところの大きかりな訓練を実施しました。この経験を生かし、常日頃から災害に備え、関係機関と連携を図ることを確認しました。

10/24

今後も健やかに仲睦まじく

結

婚50周年を迎えられた市内在住のご夫婦を祝う「結婚記念祝賀式」をさくらホールで開催しました。

式では、松本市長がお祝いの言葉を述べた後、54組108人のご夫婦に対し、これまでのお二人の歩みを祝福することにも、今後も健やかに仲睦まじくお過ごしいただくことを祈念し、祝賀状と記念品を贈呈しました。

また、OMURA室内合奏団の皆さんによる演奏で式に花を添えていただき、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

11/4

大村・諫早両市民が親睦を深める

大

村・諫早両市民が、ウォーキングを通して親睦交流を深めようと、「長崎街道(シュガーロード)ウォーキング」が行われました。

これは、諫早市の市民提案事業として開催されたもので、両市の市民約170人が参加しました。大村市民の皆さんは市役所を出発し、諫早市民センターを目指し約14キロのウォーキングに挑戦しました。

中間地点である鈴田峠で両市民が集い、「親善大使」に選ばれた両市の中学生がそれぞれの市旗を交換。両市の銘菓を味わうなど、親睦を深めました。

平成24年度大村市防災会議



大村市結婚記念祝賀式



諫早・大村親善交流長崎街道(シュガーロード)ウォーキング



天正遣欧少年使節の足跡を辿って

市長コラム vol.16

去る10月3日から12日までの10日間、市制施行70周年記念事業として天正遣欧少年使節の足跡を辿り、ポルトガル・スペイン・イタリアを訪問しました。

1582年(天正10年)に大村純忠らが派遣した天正遣欧少年使節はまずポルトガルに上陸しシントラ市を訪れました。そのシントラ市と大村市は15年前に姉妹都市を締結しています。10月5日にそのシントラ市を訪れ、祝日にもかかわらず58歳のセララ市長が我々を歓待されました。歴史に詳しい市の女性職員がスライドを使って天正遣欧少年使節を解説されました。

市長は続いて行われた昼食会にも出席されたほか、パトカーによる視察の先導など、本当に良くしていただきました。これまでに両市あわせて150人の高校生が交流した相互ホームステイがこの2年途絶えています。「ぜひ復活しましょう」という私の提案に、「スイン(はい)」とセララ市長も快く同意され、セララ市長自身も来年4月に本市を訪ねられることになりました。やはり顔を合わせ話をする事がどれだけ重要かを痛感しました。

夕方は、駐ポルトガル大使公邸に20人の訪問団全員が招待され、晩餐会が行われました。とても有意義な交流ができ、忘れられないひとときとなりました。

四宮信隆大使とは、2年ほど前からお付き合いがあり、大使が私の大学の後輩であったことも幸いしたのかもしれません。

ローマから車で4時間かけて、4少年がイタリアで初めて上陸した港町リボルノ市を訪れました。市幹部のコロンビーニさんとお会いし、シントラに次いで、将来的にリボルノとも交流していこうというところで話が弾みました。

実は、リボルノ訪問が実現できたのは、向陽高校OGでローマ在住30年の横尾雪絵さんのご尽力のお陰であり、感謝しています。

欧州3か国では、古い建造物を大切にしながら、建築制限や看板設置の規制などにより景観が守られていた事が印象的でした。しかしながら、EUの経済が疲弊しているためか、街の至る所にスプレーの落書きが目立つたことには心を痛めました。